

# ALESIS

## MultiMix8Line

クイック・スタート・マニュアル

### 同梱内容

- ・MultiMix8Line 本体
- ・電源ケーブル
- ・クイック・スタート・マニュアル

## 安全にお使いいただくために

### この取扱説明書で使用している、危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



**製品をご利用の際は、使用上の注意に従って下さい。**

1. 注意事項を読んで下さい。
2. 注意事項を守って下さい。
3. すべての警告に従って下さい。
4. すべての注意事項に従って下さい。
5. 水の近くで使用しないで下さい。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用して下さい。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないで下さい。
7. 取扱説明書に従って、設置して下さい。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むその他の音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないで下さい。

9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用して下さい。アース端子付きの電源プラグは、2つのブレードのほか棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わない時は、専門の業者にコンセントの取替えを依頼して下さい。

10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意して下さい。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意して下さい。

11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用して下さい。

12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用して下さい。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意して下さい。台車をご利用の場合は、装置を載せたまま移動する時、傾けて装置に損傷を与えないよう注意して下さい。



13. 雷が鳴っている時や、長時間使用しない時は、プラグを抜いて下さい。



14. 修理やアフターサービスについては、専用窓口にお問い合わせ下さい。電源コードやプラグが破損した時、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりした時、装置が雨や湿気にさらされた時、正常に動作しない時、本体を落とした時等、故障の際は、修理が必要となります。

15. 本装置は正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低15センチ離し、風通しの良い場所をご利用下さい。

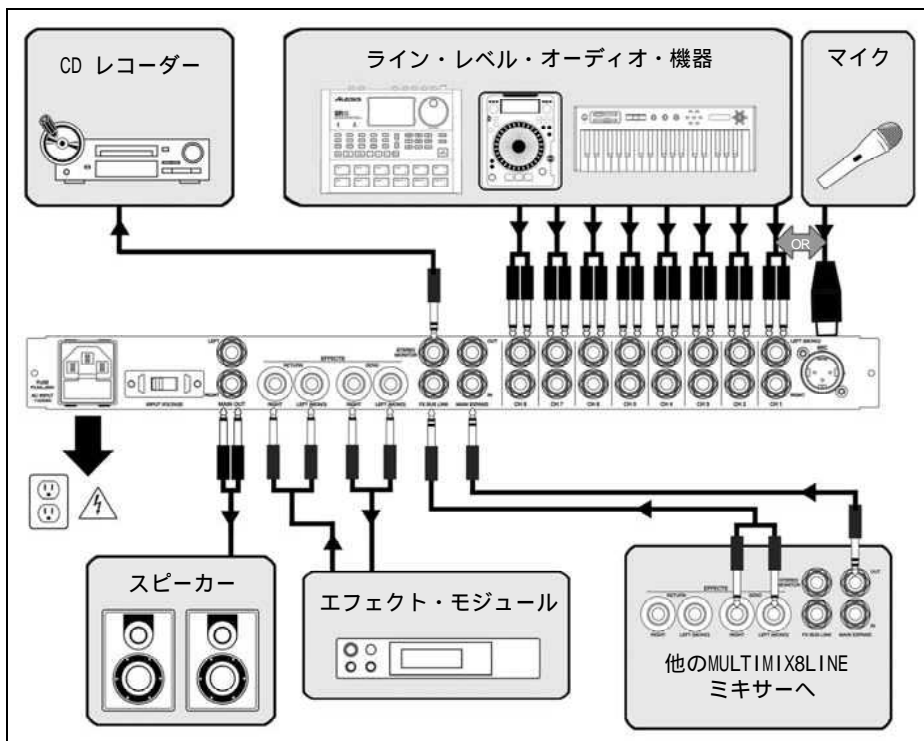
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談下さい。

17. 水がかかるような場所に置かないで下さい。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないで下さい。

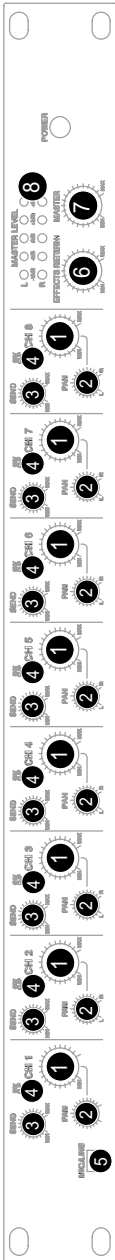
18. 警告:火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないで下さい。

# クイック・スタート・ガイド

## 接続例



## フロント・パネル外観



### 1. ボリューム

各チャンネルのゲインを調整します。

### 2. パン

各チャンネルの左右の定位を調整します。ステレオ接続の場合、このノブはバランス・コントローラーとして動作します。このノブを左に回すと右の音量が小さくなり、右に回すと左が小さくなります。

### 3. センド

外部エフェクト・プロセッサに送る信号の大きさを調整します。センドはポスト・フェーダー（外部エフェクト・プロセッサに送られる信号の大きさはボリュームの影響を受けます）で動作します。

### 4. シグナル/クリップ LED

信号のレベルが適正であれば、このLEDは緑色に光ります。このLEDが赤く点滅（クリップ状態）したら、入力レベルを上げて歪まないようにして下さい。

### 5. マイク/ライン

CH-1のみマイクロフォンとライン入力を切り替えをすることが出来ます。

### 6. エフェクト・リターン

外部エフェクト・プロセッサからの信号の量を調整します。

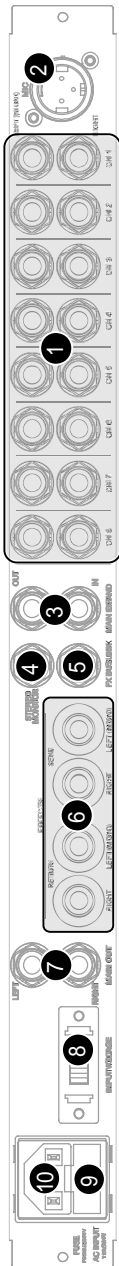
### 7. マスター

メイン・アウトプットへの出力ボリュームを調整します。

### 8. マスタ・レベル・メーター

マスター出力信号のレベルを確認するためのレベル・メーターです。MultiMix8Lineのメーターは、0dBuで0dBを示します。

## リア・パネル外観



### 1. 8ステレオあるいは16モノライン・インプット

ステレオ・ソースは、上段に左チャンネル、下段に右チャンネルを接続します。モノ・ソースは上段のジャックにのみ接続します。この接続をすると、信号は左右両チャンネルに送られます。接続はアンバランスです。

接続には標準 TS (ティップ・スリーブ) フォーン・ケーブルを使用します。MultiMix8Line は、-10dBV (民生機器レベル) と +4dBu (業務機器レベル) を同時に使用出来る広いゲイン・レンジを持っています。

### 2. オプションのマイクロフォン・インプット

CH-1 のみ、マイクとラインをフロント・パネルのスイッチで選択することが出来ます。マイクロフォンは、必ず XLR (3-ピン) に接続して下さい。この時、信号は常にモノラルとして扱われます。

MIC か LINE のどちらかを選択して下さい。CH-1 は、マイクロフォンとライン・インプットを同時に使用することは出来ません。

MultiMix8Line は、ファンタム電源を装備していませんので、使用するマイクロフォンがファンタム電源を必要としないことを確認して下さい。

インプット・ソースを接続したら、ボリューム、パン、AUX センド・レベル (AUX センド・リターンの詳細は下記をご覧ください) を調整して下さい。

### 3. メイン拡張入出力ジャック

拡張入出力ジャックを使用すれば、MultiMix8Line ミキサーを複数台接続することが出来ます。1台目の MultiMix8Line ミキサーのメイン拡張出力ジャックと2台目の MultiMix8Line ミキサーのメイン拡張入力ジャックを接続するという具合です。この要領で何台接続することも可能です。接続には、標準 TRS フォーン・ケーブルを使用して下さい。チェーン接続した場合、最後尾のミキサーでマスター・ボリュームをコントロールします。すべてのミキサーに入力された音が、最後尾のミキサーのメイン・アウトプット・ジャックから出力機器 (アンプ、パワード・スピーカー、メイン・ミキサー等) に出力されます。

メイン拡張出力からは、エフェクト・リターンとマスター・ボリュームの前段の信号が出力されますので、エフェクト・リターンは最後尾のミキサーに接続して下さい。

### 4. ステレオ・モニター・アウトプット

この出力はアンバランス接続になっており、ヘッドフォン・アンプやバックアップ・レコーダー等に接続します。この端子からは、マスター・ボリューム後段の信号が出力されますので、マスター・ボリューム・ノブの操作が影響します。

ステレオ・モニター・アウトプットを、左右独立した入力端子を装備した機器に接続する場合は、一方が標準 TRS フォーン、もう一方が分岐した標準 TS フォーンのケーブル (通称 Y ケーブルあるいはインサート・ケーブル) が必要になります。

標準 TRS フォーンを MultiMix8Line に、ティップ側の信号の標準 TS フォーンを左チャンネル、リング側の信号の標準 TS フォーンを右チャンネルに接続します。

## 5. エフェクト・バス・リンク

2台の MultiMix8Line ミキサーを接続して使用する場合、1台の外部エフェクト・プロセッサをシェアすることが出来ます。一方が標準 TRS フォーン、もう一方が分岐した標準 TS フォーンのケーブル(通称 Y ケーブルあるいはインサート・ケーブル)を使用します。ティップ側の信号の標準 TS フォーンを左チャンネル、リング側の信号の標準 TS フォーンを右チャンネルを、1台目のミキサーのエフェクト・センドに、標準 TRS フォーン・プラグを2台目のミキサーのエフェクト・バス・リンクに接続します。

外部エフェクト・プロセッサと2台目のミキサーのエフェクト・センド・リターンを接続します。これで2台のミキサーの AUX センドからの信号が外部エフェクト・プロセッサに入力されます。エフェクト・リターンのレベルは、2台目のミキサーのエフェクト・リターン・ノブでコントロールします。

## 6. ステレオ・エフェクト・センド・リターン

リバーブ・ユニット(Alesis MidiVerb4) や、その他のエフェクト・プロセッサを接続して、エフェクトを付加します。エフェクト・プロセッサのインプットとミキサーのエフェクト・センド・ジャックを接続します。エフェクト・プロセッサのアウトプットとミキサーのエフェクト・リターン・ジャックを接続します。モノラルのエフェクト・プロセッサを使用する場合は、MultiMix8Line の左チャンネル(モノ)ジャックにのみ接続します。左チャンネル(モノ)ジャックのみ使用すると、エフェクト・リターンの信号は、左右両方から聞こえます。エフェクト・プロセッサとの接続が完了したら、各チャンネルの AUX センド・ノブでエフェクト送りの量を調整します。

エフェクト・プロセッサのドライ/ウェットの設定を、"100% ウェット" にすることで MultiMix8Line に戻ってくる信号がエフェクト音のみになります。これにより、エフェクトの量を、AUX センド・ノブとマスター・エフェクト・リターン・ノブで調整できるようになります。

この接続には、アンバランスの標準 TS フォーン・ケーブルを使用します。

## 7. メイン・アウトプット

MultiMix8Line の出力を音声出力機器(アンプ、パワード・スピーカー、メイン・ミキサー等)に接続します。この端子はバランス接続になっていますので、標準 TRS フォーン・ケーブルを使用してください。

## 8. 電源電圧切り替えスイッチ

重要! お使いの電源にあった電圧を選択してください。

## 9. ヒューズ

ヒューズはご自身で交換可能です。定格をご確認の上交換してください。

## 10. AC 電源ケーブル

MultiMix8Line は各国に対応した電源ユニットを内蔵しています。接続には、同梱の IEC 電源ケーブルをご使用ください。

## 仕様

技術的な詳細は、下記のMultiMix 8 Line仕様書をご参照下さい。

### テスト・コンディション

- マスター・レベル = 最大
- エフェクト・リターン・レベル = 最小
- L-CH/モノ・インプットへの信号入力テスト
- 各チャンネルのテスト条件、ゲイン = 真中、パン = 真中、エフェクト = 最小
- 各チャンネルのテスト条件、ゲイン = 最小、パン = 真中、エフェクト = 最小

### ライン・インプット

歪率: 0.005% @ 1kHz、16dBu

SN比 A-ウェイトド: 101dB

周波数特性: +0.1dB / -1dB @ 20kHz

チャンネル・クロス・トーク (チャンネルの左右間): -55.5dB @ 10kHz, 15dBu

チャンネル・クロス・トーク (隣接チャンネル間): -47.0dB @ 10kHz, 15dBu

### マイクロフォン・インプット

歪率: 0.007% @ 1kHz、-24dBu、600

SN比 A-ウェイトド: 90dB

周波数特性: -2.5dB @ 20Hz、-4.25dB @ 20kHz

### エフェクト・センド

最大出力: 17dBu (アンバランス)

歪率: 0.002% @ 1kHz、16dBu

### ステレオ・アウトプット

最大出力: 26dBu (バランス)

チャンネル・レベル最小時の SN比 = 101.5dB

チャンネル・レベル最大時の SN比 = 103.0dB

## **アレスシ限定保証**

アレスシ・コーポレーション(以下アレスシ)は、本製品の不良パーツ及び機能の不具合に対し、以下の通り保証します。

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証サービスは購入者のみに有効で、第3者に転用・譲渡はできません。

より良いサービスの提供のため、製品をお買い上げいただいた後に、アレスシのWebサイト(<http://www.alesis.jp>)でユーザー登録をして下さい。

保証期間中に、アレスシまたは指定のサービス代理店の検査で不具合が発見された場合には、アレスシはいかなる製品も無償で修理または交換します。本保証に関するいかなる紛争も、法律の規定によって解決します。

保証サービスを受けるために、購入者はアレスシWebサイトに記載された住所、または電話番号に連絡の上、Return Authorization Number(返品承諾番号)を受け取り、保証サービスを受ける際の返品場所などについて、指示を受けて下さい。お問い合わせの際には必ず、不具合の詳細をお知らせ下さい。保証サービス範囲内での返品は、適切な梱包をした上、元払いでアレスシまたは指定の修理工場にお送り下さい。

返品の場合は、保証書、領収書(レシート)または購入を証明できるその他の有効な書面を添付し、対象製品が保証期間内であることを明らかにして下さい。アレスシは、修理のために返品されたいかなる製品に対しても、最新のものに交換する権利を有します。アレスシは事前の通知なく、いつでも製品の仕様を変更または改良する権利を有します。誤った使用方法、不注意、改造や不当な修理による故障については、保証サービスの範囲外となり、サービスは適用されません。正常な使用状態で、本機のパーツや機能に不具合が生じた場合にのみ、保証サービスが適用されます。

アレスシは、製品の使用不可能または不具合に基づく損害、また法律の定める範囲内での人身傷害を含める、いかなる二次的、及び間接的な損害賠償の責任を負いません。保証条件や本保証に基づきアレスシが負う責任は、販売国の国内でのみ有効です。本保証で定められた修理は、各販売国で正式なアレスシのサービス代理店でのみ行われるものとします。各国ごとの保証サービスについては、それぞれの地元販売店にお問い合わせ下さい。

## **Alesis窓口情報(日本国内)**

プロ・オーディオ・ジャパン株式会社  
テクニカル・サポート 行  
〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町7-150ウエインス&イッセイ横浜ビル 5F  
Tel: 045-290-6390  
Fax: 045-326-2046  
E-mail: [alesis@alesis.jp](mailto:alesis@alesis.jp) Web site: <http://www.alesis.jp>

無断転載、全部または一部の複製を禁ず。仕様は予告なく変更する可能性があります。

